

【第82回企画展示】

# 酒田災害特別記念展

酒田大震災から100年



明治27年酒田大震災の惨状 石版画 鶯谷 画

開催期間 平成6年9月15日(木)～平成6年11月6日(日)  
開館時間 午前9時～午後4時30分  
休館日 10月無休、11月 月曜日(当日祝祭日はその翌日)  
入場料 大人100円・児童生徒50円  
身体障害者と65歳以上無料

酒田市立資料館

〒998 酒田市一番町8-16 ☎(0234)24-6544

## 開催にあたって

あの酒田大火から20年近く、そして酒田大震災（庄内大地震）から今年で100年。

そのつど、人びとは逞しく復興に力を注ぎ、見事に立ち直ってきました。

しかし「災害は忘れたところにやってくる」と言われますように、全く予知できないことであり、忘れがちなことも事実です。

今回の企画展示では、その他の風水害も合わせ、災害のたびごとにどんな反省に立ち、どのような知恵で復興と今後の対策に取り組んで来たのか回顧しようと思います。

展示にあたり、資料提供いただいた皆様に謝意を表しながら、過去の災害の事実をみつめ防災を考える一助となれば幸いです。

なお、2階常設展示は「郷土の歴史民俗資料展」です。



酒田大火（昭和51年10月29日）安藤聡雄氏 撮影

酒田燃ゆ

藤井康夫

炎の川

とどまらなく

たぎりつつ

夜もすがら燃え

朝鳥啼かず

まのあたり

火龍のたうつ

如くにも

わが産砂の

酒田は燃ゆる

あらがねの

焦土いまでも

けふる空に

大き朝虹

たちけるとはや

歌集「孤雲抄」より



震災大実況図(部分) 生駒大飛画 (酒田市指定文化財)

## 酒田大震災

明治27年10月22日午後5時35分、俄然西南の方向からものすごい震動が起った。当時酒田の全戸数 3,460戸の内、全潰 196戸、全焼 1,290戸、社寺全潰25棟、全焼22棟、

土蔵 328棟、死亡 162人という大惨事をもたらした。船場町がもっとも悲惨をきわめた。  
(目で見ると酒田市史より)

## 生駒大飛 (1857~1922)

秋田県本荘生れ。本荘藩士土門皓哉や福島柳圃に絵を学び、のち日根対山に南画の教えを受けている。その後大飛は良琳の作品に私淑し、絢爛とした、彩色豊かな絵を描いている。



海向寺全潰 (明治27年10月)



遊摺部部落の浸水 (明治38年)



浜田小学校全焼 (昭和31年5月)



新潟地震 道路地割れ (昭和39年6月)



鳥海山噴煙 (昭和49年3月)



冷害 実の入らない稲穂 (平成5年10月)

# 酒田における主な災害

西暦	年号	主な出来事
八五〇	嘉祥 五	十月一六日、出羽国大地震、圧死者多く津波あり。
八七一	貞観 一三	四月八日、 <b>鳥海山大噴火</b> 、土石焼け、轟音あり。
一四六六	文正 元	大洪水(白髭水)五三町歩流失、浸水七日間。 東禅寺成豊破壊される。
一六四一	寛永 一八	大凶作、春夏霖雨、八月急寒。
一六八二	天和 二	四月三日、庄内空前の大洪水、新井田蔵浸水、濡米三万七千俵。亀ヶ崎城の橋残らず落ちる。
一六九五	元禄 八	大凶作、霖雨性冷気、長雨。
一七〇二	宝永 一五	一月大地震、百年来のものという。
一七〇六	宝永 三	大凶作。
一七〇七	四	七月五日、大風雨のため小湊一夜で埋まる。酒田湊口ふさがる。
一七二六	享保 一一	五月八日、片町から出火、二〇七七戸焼失。権九郎火事。
一七三二	享保 一七	大凶作、ウヅカ大発生。
一七五一	宝暦 一	三月二九日、荒瀬町から出火、二四〇五戸焼失。
一七五五	一五	大凶作、早魃、水害、害虫。(宝暦の大飢饉)
一七五八	一八	七月一三日、伝馬町から出火、一四七九戸焼失。
一七六三	二二	大凶作。
一七六五	二四	大凶作、冷気、早魃、風損、害虫。
一七七二	安永 四	大凶作。五月洪水、瑞賢倉破壊される。
一七七六	九	四月一五日、片町から出火、二、一八二戸焼失。
一七八〇	五	大凶作、水害。
一七八三	天明 三	六月、 <b>庄内大地震</b> 、酒田もつとも被害大。
一七九九	寛政 一	大凶作。 <b>天明の大飢饉</b>
一八〇一	享和 元	七月大洪水、山居松原堤防破れ、大手橋等大破。
一八〇四	文化 三	七月鳥海山噴火し、享和嶽(新山)できる。
一八〇六	三	六月四日、鳥海山噴火し、大地震となる。亀ヶ崎城大破。
一八一八	文政 元	十月二四日、大風雨のため、最上川氾濫し、船場町流される。
一八二二	五	大凶作。
一八二八	文政 一一	七月三日、庄内大洪水、水死人多数。 一二日、出町から出火、一二四〇戸焼失。
一八三二	天保 三	七月九日、大雨降り、十日間洪水となる。御蔵米二万俵濡れる。
一八三三	四	大凶作、水害、害虫。
一八五〇	嘉永 三	大凶作、(天保大飢饉)
一八六〇	万延 元	六月二六日、最上川大洪水、茨野・小牧の土手破れ、六三八戸浸水。いろは蔵濡米四万俵。
一八七九	明治 二	大凶作。
一八九四	三七	二月一八日、洪水、御蔵米三万俵濡米、新堀村六人水死。
一八九七	三八	六月、七月、最上川、赤川大氾濫、未曾有の大洪水。
一九三〇	昭和 三	十月二日、 <b>酒田大地震</b> 。全焼一七四七、倒壊一五五八。
一九三一	六	八月、 <b>最上川氾濫</b> 。大宮、大町、遊摺部は陸の孤島と化す。
一九三二	七	大凶作、ウヅカ大発生。
一九三三	八	大凶作、低温、寡照、イモチ病。
一九三四	九	九月二一日、室戸台風、大暴風。
一九四四	一九	大凶作、融雪遅延、低温、寡照、イモチ病。
一九四七	二二	七月、 <b>最上川大洪水</b> 、上流堤防決壊し新堀村等水害。
一九四八	二三	七月八日、豪雨により最上川背割堤防一〇五ヶ所決壊、港内埋没。
一九六一	三六	十月一五日、アイオン台風、最上川右岸堤防決壊。
一九六四	三九	九月一六日、 <b>台風六号</b> (第二室戸台風)最大風速三七、七ヶ所。
一九六五	四〇	六月一六日、 <b>新潟地震</b> 、M七、七、震度五、倒壊家屋一二五戸。被害総額九、九億円。
一九七一	四六	九月一八日、台風二四号、最大瞬間風速四二、五ヶ所。
一九七五	五〇	七月一六日、庄内集中豪雨、交通途絶え、崖崩れ多し。
一九七六	五一	八月六日、集中豪雨(二二、)日向川曙橋流失、酒田で田畑の冠水一六六ヘクタール。
一九八一	五六	十月二九日、 <b>酒田大火</b> 。焼損棟数一、七七四棟。
一九九三	五	八月二三日、台風一五号、最大瞬間風速三七、四ヶ所。凶作、低温、寡照。